中国黒龍江省におけるモンゴル人の言語と継承・復興への取り組み

包联群

本発表では、中国黒龍江省におけるモンゴル人の言語の実態を紹介すると同時に、当地域でのコミュニティ言語の継承・復興活動について言及する。
2006 年の統計によると、中国には 581 万人以上のモンゴル人が居住している。黒龍江省には 15 万人のモンゴル人が居住しているが、4 千万人近くの人口がある中で、わずか 0.4%しか占めていない。

中国黒龍江省におけるモンゴル語は、長期にわたって中国語の影響を強く受けていた。したがって、黒龍江省におけるモンゴル人コミュニティ言語（Heilongjiang Mongolian Community Language, HMCL と省略）は標準モンゴル語とも、他のモンゴル語方言とも異なっている。このような HMCL を新たな「混合言語」（Mixed Language）と呼ぶことにしている。周知のように、モンゴル語は SOV(S+OV)型の言語であり、中国語は SVO 型の言語である。HMCL はモンゴル語の文法をベースとし、中国語から大量な語彙（あるいはフレーズなど）を取り入れた言語である。

黒龍江省におけるモンゴル人の言語はすでに変貌している。だが、最も多くのモンゴル人は自分の母語を失い、中国語へと言語シフトをしたか、あるいは言語シフトをしている段階まできている。

本発表では、中国黒龍江省におけるモンゴル人コミュニティ言語の実態及び学校教育の拡大、言語継承活動などへの取り組みを紹介する。

キーワード：モンゴル人コミュニティ、モンゴル語、言語継承、言語復興、学校教育